

危険！投込みヒーターの誤使用は、火災事故に直結します！

バケツ用ヒーターや投込みヒーターなどの水用ヒーターは、水を入れた容器に入れると簡単にお湯が作れる便利な商品です。建築現場などの、電気は来ているけれどもお湯が出ない、といった場所で重宝します。

しかし、使用方法を誤ると火災の危険性があります。上伊那広域消防本部管内でも投込みヒーターの使用法の誤りで、火災が発生しています。



【火災を防ぐために】

- 使用後は電源を切る

電源の切断は、電源プラグを抜いてください。温度調節器の設定では電源の切断になりません。火災の原因になります。

- 樹脂容器は使用しない

金属製以外の容器を使用すると、容器の溶解・火災・感電の原因になります。

- 不安定な容器に入れない

バケツや容器に水を入れる前に、コンセントに差し込んでないヒーターを入れ、容器が倒れないことを確認してください。倒れたりすると火災の原因になります。

- ヒーターは必ず水中で通電する

ヒーターの発熱部が空焼きにならないように、水が水位標示まであることを常に確認してください。水の無い状態で通電すると、火災・火傷・故障の原因になります。温度調節器は水温感知式ですので、ヒーターの空だき防止機能はありません。

- 容器がひっくり返ったら電源プラグをすぐに抜く

守らないと、火災の原因になります。

- 端子部や温度調節器を水中に入れない

感電・漏電の原因になります。

- 「水」以外使用しない

火災・感電の原因になります。

- ヒーターの取り出しは、電源プラグを抜いて4～5分たってから行う

出してすぐ可燃物の上にヒーターを置かないでください。火災の原因になります。出したばかりのヒーターの発熱部分は、素手で持たないでください。やけどの原因になります。

- ヒーターを改造しない

火災・感電の原因になります。

● **電源電線を破損させない**

電源電線を加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると、火災・感電の原因になります。
電源電線が傷んだらすぐに取扱店にご相談ください。

● **アース線付のヒーターはアースを必ず取付ける**

守らないと、漏電・感電の原因になります。

● **電源プラグは手で持って抜く**

電源電線に傷がつくと、火災・感電の原因になります。

メーカーのホームページ

株式会社八光電機

<http://www.hakko.co.jp/topics/20121226.pdf>

株式会社八光電機

熱の実験室－新館 第17回 バケツ用ヒーター（投込みヒーター）と火災

<http://www.hakko.co.jp/expe/new/exnew1701.htm>

上伊那広域消防本部 予 防 課

〒396-0025 長野県伊那市荒井 4606 番地 1

TEL.0265-72-0119 FAX.0265-72-0712

e-mail yobou@union-kamiina.jp

上伊那広域消防本部 通信指令課

〒396-0025 長野県伊那市荒井 4606 番地 1

TEL.0265-72-0119 FAX.0265-72-0712

e-mail shoubou-honbu@union-kamiina.jp

平成 29 年 2 月 15 日